

## 陳 情 文 書 表

受付番号	第4号
受付年月日	令和6年11月20日
件名	人勸凍結による行政サービス財源の確保に関して
陳情者	兵庫県三田市 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 浜田 弘志
要旨	<p>1 人事院勧告の凍結をされたい</p> <p>2 人勸凍結による行政サービス財源確保を図られたい</p> <p>3 行政の支え手が暮らしの極限にあることを認識されたい</p> <p>フラワータウン再生委員会が設置されましたが、日本全国の都市でも同様なことが起きていること起死回生策がありません。フラワータウンの創造的再生を確信するためには、人勸凍結による行政サービス財源確保を図りたいものです。</p> <p>具体的な起死回生策は、フラワータウン駅の「フラワータウンセンター・バスターミナル」の活性化・路線拡大にあります。</p> <p>神戸電鉄・フラワータウン駅の乗降2002年の3646人をピークに2177人（21年）まで減少し、駅ビルテナントの撤退も続いています。路線拡大として、人気絶頂にある淡路島、2025大阪万博との特急路線開設、関西私鉄及び長距離路線バスを利用できる「丹波・有間の1 dayパス」の創設による促進策を目指したいものです。</p> <p>さて、人勸凍結の要請は、財源がなく何もできないことの行政的常態からの脱却です。非正規の地方公務員には退職金を払いたくない「時短パート／6月の派遣契約」の存在等は、ワーキングプアの元凶です。また、経常費における公共事業費と人件費との相反性による公共事業費減額は、コストカット経済の元凶だと指摘できます。</p> <p>9月市議会では令和25年の一般会計収支不足106億円を憂慮しています。</p> <p>私的ながら医療費自己負担2割の年金額下限にある暮らしは、がまんの限界です。行政を支える中間層が細ること、国・地方自治体の人事院勧告を看過できません。</p> <p>以上、議会審議における人事院勧告の凍結を陳情いたします。</p>
付託委員会	経営政策常任委員会